

Sustainable Kyushu

さすてなぶる九州

株式会社 ウィルプラスホールディングス  
代表取締役社長

成瀬 隆章 氏

Takaki Naruse

取引店／福岡銀行 雑餉隈支店



## 積極的M&Aによる事業拡大、 店舗のグリーン化、脱炭素化の取り組みで、 「社会的価値向上」と「企業価値向上」の両立に挑む。

世界の自動車メーカー11ブランドの輸入車を、日本国内で販売する正規ディーラー5社の持ち株会社「株式会社ウイルプラスホールディングス」。ブランドナンバーワン、そしてオンラインワンの企業グループを目指し、積極的M&Aを活用した事業を展開されています。

現在はファイアット、アルファロメオ、アバルト、ジープ、BMW、MINI、ボルボ、ポルシェ、ジャガー、ランドローバー、そして中国の電気自動車（EV）メーカー、BYDを取り扱っております。

持続可能な企業としてさらなる発展をしていくために、グループ全体の「社会的価値向上」と「企業価値向上」の両立を目標に掲げ、店舗のグリーン化やGHGの総排出量の削減を実現するための新しい挑戦も始まっています。

今回は、福岡生まれで、福岡で起業された、東証上場の株式会社ウイルプラスホールディングスの成瀬隆章社長にお話を伺いました。



### 日本一の正規ディーラーを目指し、 海外11ブランドの 持ち株会社を設立

私は福岡県北九州市で不動産業と中古車販売業を営む家庭に生まれました。中学生になる時に親元を離れ、福岡市内の中学校に進学し、西南学院高校、そして関東の大学へと進学します。もともと「人が好き」「商売することが好き」という性格もあったのでしたが、車を販売することで買ってくれた方々のライフスタイルが変わり、みんなが笑顔になるのを見てこの業界で生きていこうと思ったのです。2004年輸入車販売で日本一を目指すべく、地元福岡で撤退を検討していた株式会社福岡クライスラーの全株式を自己資金で取得し、独立を果たしました。

2007年には持ち株会社、株式会社ウイールプラスホールディングスを設立。翌年の2008年にチェッカーモータース株式会社（現・ウイールプラスチェッカーモータース株式会社）を子会社化して、ファイアット、アルファロメオなどの取り扱いを始めます。



ジープ福岡(福岡市博多区)

2009年には、縁あってクライスラー日本株式会社から日本直営店2店舗を譲り受け、その後もBMW、MINIを取り扱うウイールプラスモーター株式会社、ボルボの帝欧オート株式会社（現・ウイールプラス帝欧オート株式会社）、ポルシェのウイールプラスアインス株式会社、ジャガー、ランドローバーのウイールプラスエンハンス株式会社を設立するなど、積極的M&Aを展開してきました。

### 積極的M&Aで事業再生 気候変動問題解決に向け、 店舗のグリーン化や脱炭素化を加速

私たちの積極的M&Aというのは、ただ既存の店舗などを買収・譲受するのではなく、雇用はそのままに事業を再生し、企業価値を高めていくことを目的としています。

M&Aというと、一方的にこちらのルールを押し付けるイメージがあるかもしれませんが、他社から学ぶことも多く、共通のルールをもにつくり上げ、売り上げ増につながるよう、ともに歩んでいこうと常々話しています。

輸入車ディーラーといっても、とくに地方の場合、家族的な小規模経営がほとんどです。そのような環境下で、世界的に脱炭素社会が叫ばれるようになって欧米からの輸入車はEV化が進み、それに合わせて日本国内の店舗設備も大きく変えていく必要が生じ、家族的な経営では収益をあげる事が難しくなっています。さらには後継者不在や労働力不足、店舗のグリーン化の問題なども表面化されるようになってきました。

そこで私たちは豊富な経験をもとにM&Aを進めていくことで、確実に結果を出し、買収店舗、事業譲受店舗の事業再生を徹底して行ってきました。ただし、店舗ごとに配置する親会社からの派遣スタッフはわずか1、2名です。人材の育成、活性化を行いながら会社の体質そのものを改善することで、実際にどの店舗においても収益性が確実に改善され、従業員も給与やボーナスがアップするという好循環が生まれています。

一方で、私たちとしてはM&Aによって新エリア、新ブランドを獲得するのはもちろん、EV車普及促進に対応した設備投資を含む



EV充電器は全国35店舗で63台設置し、  
うち高速充電器も14台設置済み

店舗のグリーン化、CO<sub>2</sub>排出量削減、リサイクル促進などの社会課題の解決を推進することができると考えています。

### 半導体不足などによる市場の停滞

保険や整備などの

ストック型ビジネスで、

着実に売り上げを伸ばす

輸入車の市場は、世界的な半導体不足、コロナ禍の長期化、ウクライナ情勢からくる部品供給不足に伴う納車時期の長期化により新車販売台数が伸び悩み、中古車も流通台数が少ないという厳しい状況にありました。

ようやくそれらが落ち着きを見せ始め、私たちにおいては、新車が売り上げの半分ほどに回復しています。

また、全国の輸入車の国内保有台数は2016年から2022年の7年間の平均成長率が3.46%と確実に伸びていますし、さらにEV化、ICT端末としての機能を有するコネクテッド化で、これからの輸入車整備は正規ディーラーに集約されていくと予想しています。

そのような中で、私たちはお客さまとの信頼関係をさらに強固なものとするために、車両整備や損害保険代理店事業といったストック型ビジネスにも着手してきました。とくに私たち経由での損害保険加入率は非常に高く、コロナ禍で車両販売台数が厳しい中であっても、堅調に収益を伸ばすことができています。保険や整備は、お客さまとのつながりを継続するためにも欠かせないものです。

自動車の性能が高まると同時に、1台の保有年数も長期化しています。事故対応であっても、修理であっても、正規ディーラーだからできる絶対的な安心感のあるサービスを心掛け、

他店との差別化を図っていききたいと思っています。

### 中国BYDと契約締結

#### 国内EV市場の大きな起爆剤に

長期的に見ると、若い世代の車離れは確実に来ると思っています。今後は、サブスクなど自動車を利用しやすい仕組みも必要になるでしょう。各店舗のグリーン化を進め、お客さまにEV体験、充電体験ができるよう、現在整えているところです。

今年から日本国内での販売がスタートした中国のEVメーカー・BYDは、米国のテスラを抜き、世界EV販売台数トップに躍り出ました。そこで私たちのウィルプラスエンハンス株式会社がBYD Auto Japan株式会社とディーラー契約を結び、福岡市西区のマリノアシティ福岡内に今年7月、国内6店舗目となるショールーム「BYD AUTO 福岡西」がオープンしました。このBYDの普及が、今後の国内のEV市場を大きく変化させるものと期待しています。



BYD AUTO 福岡西(福岡市西区)

輸入車は流行もあり、時期によって人気のブランド車種が変わってきます。11月のブランドを取り扱うことで、それぞれに補い合い、全体として安定した売り上げを積み上げていく

ことができるものと考えています。

景気が悪い時こそが私たちの力の見せどころですが、気候変動問題も「機会」と捉え、私たちはこの問題解決のリーディングカンパニーになるという高い目標を掲げました。

今年3月には福岡銀行から「FFG本業支援ローン(サステナビリティ・リンク・ローン型)」の融資契約を締結しました。この融資商品は、福岡銀行が独自に策定したサステナブルファイナンスフレームワークを通じて、私たちのありたい姿やゴールを銀行と共有し、将来にわたるサステナビリティ経営実現の後押しをしていただく新しい商品で、私たちが第一号案件となりました。私たちのありたい姿やゴールを目標として掲げましたが、このチャレンジングな目標に対して融資期間、目標の達成率を毎年共有して、目標達成に向けて伴走支援していただけたらと、とても心強く思っています。今後もM&Aを通して事業再生に取り組むとともに、店舗のグリーン化やGHG(CO<sub>2</sub>などの温室効果ガス)排出量の削減を推進し、持続可能な企業としてさらに成長していきたいと思っています。



FFG本社ビルで対談中の成瀬社長(左)と福岡銀行橋爪常務



FFG本業支援ローンをご利用いただいた証の記念盾を授与される成瀬社長(左)と橋爪常務

## 株式会社 ウイルプラスホールディングス

■本社所在地：〒108-0014 東京都港区芝5-13-15 芝三田森ビル8階

■電話番号：03-5730-0660

■事業内容：輸入車正規ディーラー

(フィアット、アルファロメオ、アバルト、ジープ、BMW、MINI、  
ボルボ、ポルシェ、ジャガー、ランドローバー、BYD)

■グループ会社：ウイルプラスチェッカーモータース株式会社

ウイルプラスモーターズ株式会社

ウイルプラス帝欧オート株式会社

ウイルプラスアインズ株式会社

ウイルプラスエンハンス株式会社



FFG公式YouTubeチャンネルでは成瀬社長に  
SDGsに関する取り組みを中心にお話を伺い  
ました。その様子もぜひご覧ください。

